報道発表資料

2022年（令和4年）9月22日

鉄道・運輸機構
JRTT

北陸新幹線　越前たけふ駅 駅舎の建築工事が完了！
～ 駅舎の建築工事を終え、設備工事が終盤へ ～

鉄道・運輸機構（JRTT）は、北陸新幹線 越前たけふ駅において、令和2年11月より本格的な駅舎の建築工事を進めてまいりましたが、今月で完了いたしましたのでお知らせします。

鉄道・運輸機構（JRTT）は、越前市からいただいたデザインコンセプト「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」をもとに、コウノトリが飛翔する未来への道標となる駅を目指して越前たけふ駅舎の建築工事を進めてまいりましたが、このたび最後の工程である内装工事を終え、駅舎の建築工事が完了いたしました。

引き続き、設備（電気・機械）工事を進めてまいりますので、工事期間中、周辺をご利用の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

駅舎外観写真（令和4年9月現在）

＜本件に関するお問い合わせ先＞
北陸新幹線建設局 渉外部
TEL 0776-25-1280

デザインコンセプト

「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」

デザインイメージ

コウノトリが飛翔する 未来への道標となる駅

越前市に飛来するコウノトリをモチーフとし、
越前市の美しい自然環境を未来へ
つないでいくシンボルとなる駅をイメージ

コンコース

中央部の天井には越前和紙の技法である「流し漉き」の動きをダイナミックに表現した和紙照明を設置し、全体を落ち着いた色調でデザインしています

ホーム

ホーム空間は外観デザインと合わせたモノトーン調とし、待合室は地域の伝統・文化が感じられるような格子戸、白壁をあしらったデザインとしています

<越前たけふ駅内装の様子>

改札付近

改札内コンコース

地元の伝統工芸を取り入れた柱のデザイン（左から）越前漆器の漆塗り･越前指物･越前打刃物風金属板

越前和紙を用いたコンコース階待合室の壁面

ホーム階

ホーム階待合室

ホーム階から見た西口側の景色

北陸新幹線 南越（仮称）駅新築 工事概要

1. 工事件名 北陸新幹線南越（仮称）駅新築
2. 工事場所 福井県越前市大屋町地内
3. 工事内容 南越（仮称）駅

駅 本 屋※1	鉄骨造平家建	約2,650㎡	※1：コンコース、駅務室、待合室など、旅客・駅務施設を指す
旅客上家※2	鉄骨造平家建	約9,830㎡	※2：ホーム上に掛かっている屋根・外壁を指す
信通機器室※3	鉄骨造平家建	約2,000㎡	※3：電気系統の機器などを設置する施設を指す

4. 施 工 者 飛島・本間・関北陸新幹線、南越（仮称）駅新築特定建設工事共同企業体
5. 駅 諸 元 ホーム形式：相対式2面4線

   ホーム延長：312m、駅舎の高さ：約21m、駅舎の幅：約35m